

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 概況

令和5年度は、エネルギー等の価格高騰や人手不足により多くの中小企業の経営環境が一段と厳しさを増す一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた経済活動は回復基調となった。そのような状況の中、経営基盤である会員数は堅調に推移し、制度発足以来49期で過去最高の期末会員数となった。

退職金共済事業のうち、公益目的事業である特定退職金共済事業については、遵守すべき財務3基準に適合した決算となっており、適正な事業執行を行った。

福利共済事業については、社会経済活動におけるコロナ禍は解消されつつあるが、物価高騰による施設利用料金の値上げの影響もあり、前年度よりも利用者数が減少する結果となった。

2 会員数、企業数

加入会員数は、前年度より812人増の11,980人となり、加入1万人台のペースを安定的に維持した一方で、退会会員数はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、前年度より281人増の10,820人となった。

この結果、期末会員数は前年度から1,160人増の89,615人となり、当初計画より1,065人上振れし、10月には制度発足以来初の9万人を突破するとともに、12期連続の純増を達成した。

また、退会企業数は前年より8企業の減にとどまったものの、加入企業数が伸び悩み、前年度から32社減の299社となった。

この結果、期末企業数は前年度から37社減の8,757社で純減となった。

加入・退会実績

【会員数】

(単位：人)

年度	期首会員数 (A)	加入会員数 (B)	退会会員数 (C)	期末会員数 (A)+(B)-(C)	対前年増△減	対前年比 (%)
令和元年度	83,663	12,177	10,260	85,580	1,917	102.3
令和2年度	85,580	10,930	9,975	86,535	955	101.1
令和3年度	86,535	10,825	9,534	87,826	1,291	101.5
令和4年度	87,826	11,168	10,539	88,455	629	100.7
令和5年度	88,455	11,980	10,820	89,615	1,160	101.3

【会員企業数】

(単位：社)

年度	期首企業数 (A)	加入企業数 (B)	退会企業数 (C)	期末企業数 (A)+(B)-(C)	対前年増△減	対前年比 (%)
令和元年度	8,860	331	363	8,828	△ 32	99.6
令和2年度	8,828	275	309	8,794	△ 34	99.6
令和3年度	8,794	277	264	8,807	13	101.1
令和4年度	8,807	331	344	8,794	△ 13	99.9
令和5年度	8,794	299	336	8,757	△ 37	99.6

3 事業概要

(1) 当財団の事業体系

区分	事業名
公益目的事業	特定退職金共済事業 事業主年金等共済事業
その他の事業 (相互扶助等事業)	福利共済事業 ① 余暇活動支援事業 ② 健康維持管理増進支援事業 ③ 自己啓発及び研修・表彰支援事業 ④ 生活安定支援事業 ⑤ 慶弔金贈呈事業 ⑥ 加入促進活動及び情報提供事業

(2) 特定退職金共済事業

中小企業勤労者の退職後の生活基盤安定のため、所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として、公益目的事業である特定退職金共済事業を実施した。

令和5年度は、生命保険会社に運用を委託している積立金の委託割合について見直しを行い、運用の効率化を図り給付水準を維持するとともに、加算給付を実施した。

引き続き、給付水準の維持と積立金の安全堅実な運用に努める。

ア 退職掛金受入状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年比
平均退職掛金月額	3,948円	3,976円	99.3%
退職掛金額	3,819,112,800円	3,790,850,800円	100.7%

イ 退職給付金支給状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年比
退職給付金支給者数	9,759人	9,539人	102.3%
退職給付金額	3,755,997,260円	3,311,594,480円	113.4%
平均退職給付金額	384,875円	347,164円	110.9%

ウ 運用利回りの状況

区分	令和5年度	令和4年度
総利回り	0.83%	0.84%
実質利回り	0.61%	0.62%

※総利回り…予定利息と基本配当金の積立金平均残高に対する利回り。

※実質利回り…総利回りから事務経費分を控除した利回り。

エ 配当額等の状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年比
配当額	14,196,808円	21,061,672円	67.4%
配当率	0.04%	0.06%	-

オ 期末退職給付積立金状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年増△減	対前年比
積立金の決算額	38,216,917,071円	37,990,656,371円	226,260,700円	100.6%

カ 留保率 101.20%

※留保率…令和6年3月31日現在における要支給額（退職給付金の支払いに必要な額）に対する積立金の割合。

キ 運用委託状況(令和5年度末)

生命保険会社名	退職給付積立金額	委託割合
大同生命	18,271,508,051円	47.81%
住友生命	3,909,590,616円	10.23%
第一生命	3,825,513,399円	10.01%
明治安田生命	4,047,171,518円	10.59%
富国生命	4,830,618,318円	12.64%
太陽生命	2,438,239,309円	6.38%
日本生命	240,766,578円	0.63%
アクサ生命	653,509,282円	1.71%
合計	38,216,917,071円	100.00%

ク 予定利率 0.79%

※予定利率…令和5年7月1日(保険契約応答日)時点の運用委託先生命保険会社の委託割合による加重平均の運用利回り。

(3) 事業主年金等共済事業

法人の代表者と役員、及び個人事業主等のための独自の退職金制度として、事業主年金等共済事業を実施した。令和5年度は給付水準を維持し、配当を実施した。引き続き、給付水準の維持と積立金の安全堅実な運用に努める。

ア 退職掛金受入状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年比
平均退職掛金月額	10,562円	10,785円	97.9%
退職掛金額	1,127,864,600円	1,162,461,600円	97.0%

イ 退職給付金支給状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年比
退職給付金支給者数	681人	689人	98.8%
退職給付金額	1,180,166,849円	1,100,841,964円	107.2%
平均退職給付金額	1,732,991円	1,597,739円	108.5%

ウ 運用利回りの状況

区分	令和5年度	令和4年度
総利回り	1.17%	1.24%
実質利回り	0.89%	0.94%

※総利回り…予定利息と基本配当金の積立金平均残高に対する利回り。

※実質利回り…総利回りから事務経費分を控除した利回り。

エ 配当額等の状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年比
配当額	3,588,219円	11,011,561円	32.6%
配当率	0.03%	0.09%	-

オ 期末退職給付積立金状況

区分	令和5年度	令和4年度	対前年増△減	対前年比
積立金の決算額	12,133,530,037円	12,100,514,317円	33,015,720円	100.3%

カ 留保率 100.00%

※留保率…令和6年3月31日現在における要支給額(退職給付金の支払いに必要な額)に対する積立金の割合。

キ 運用委託状況(令和5年度末)

生命保険会社名	退職給付積立金額	委託割合
大同生命	2,571,095,015円	21.19%
住友生命	1,168,458,943円	9.63%
第一生命	1,377,155,659円	11.35%
明治安田生命	1,281,300,772円	10.56%
富国生命	1,373,515,600円	11.32%
太陽生命	1,716,894,500円	14.15%
日本生命	2,532,267,719円	20.87%
アクサ生命	112,841,829円	0.93%
合計	12,133,530,037円	100.00%

ク 予定利率 1.14%

※予定利率…令和5年7月1日(保険契約応答日)時点の運用委託先生命保険会社の委託割合による加重平均の運用利回り。

(4) 福利共済事業

会員と家族の余暇活動の充実、健康維持増進等を目的に自主事業及び助成事業並びに慶弔金贈呈事業を実施した。

これらの事業(下記ア～オ)を利用した人数は、前年度より48,521人(15.3%)減の269,023人となった。

受取福利会費は、会員数増加に伴い前年度より約777万円増の約6億4,099万円となり、このうち約87.5%にあたる約5億6,089万円を福利共済事業費として執行した。

【延べ利用者数】

令和5年度	令和4年度	対前年増△減
269,023人	317,544人	△48,521人(△15.3%)

※参考…令和元年度(コロナ禍前):382,125人

ア 余暇活動支援事業

自主事業では、年間を通じて様々な公演、興行を鑑賞してもらう企画として芸術文化鑑賞事業を新たに実施した。また、前年度当センター単独で開催したeスポーツ大会について、令和5年度は他都市福利厚生団体と共同開催し、5団体に所属する会員及び家族が参加した。

助成事業では、物価高騰等の社会的情勢が影響したものとみられるが、前年度よりも利用者数が減少し、全体での参加人数も前年度から28,505人減少した。

【参加人数】

令和5年度	令和4年度	対前年増△減
170,574人	199,079人	△28,505人(△14.3%)

※参考…令和元年度(コロナ禍前):258,862人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	《コンサート等の主催イベント》		人
	ニューイヤークラシックコンサート	1月	1,540
	映画鑑賞会	2月	512
	福利厚生5団体eSportsCup(京都市、船橋市、さいたま市、奈良市の福利厚生団体と共同開催)	2月	18
	《芸術文化鑑賞、レクリエーション事業》		
芸術文化鑑賞事業(大相撲、サカス、バレエ、落語)	8~1月	700	
遊園地特別助成・東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券	6~10月	4,773	
日帰りバスツアー	6~1月	188	
	小計		7,731
助成事業	じゃらんコーポレートサービス(旅行・宿泊)	通年	1,519
	円山動物園他道内のレク・娯楽施設入園	//	130,751
	スポーツ観戦(シーズンシート招待等)	//	500
	映画館入場(シアターキ)	//	565
	音楽会、美術展入場	//	6,153
	音楽定期会員	//	52
	ローチケbiz+(ロソフケット利用補助券)	//	23,296
	アクティビティ体験(アビュ-!)	7~10月	7
	小計		162,843

イ 健康維持管理増進支援事業

健康維持管理事業として人間ドック、健康診断の受診及びインフルエンザ予防接種等の料金助成事業を実施し、健康増進支援事業として各種スポーツ大会の開催や市営体育館、スキーリフト等への利用料金助成事業を実施した。

① 健康管理

低廉な費用で健康診断を受けられるよう、29カ所の医療機関と助成契約を締結し、健診料の一部を会員に助成した。

令和4年度に引き続き、インフルエンザ予防接種助成では、接種する医療機関を指定することなく、接種後に助成額の還付を申請する「事後還付方式」による助成を行った。

全体の参加人数は前年度よりも減少し、27,187人となった。

【参加人数】

令和5年度	令和4年度	対前年増△減
27,187人	27,869人	△682人(△2.4%)

※参考…令和元年度(コロナ禍前):18,422人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数 人
助成事業	定期健康診断、健康度測定	通年	11,388
	人間ドック(1泊2日・日帰り・パブリック)	〃	1,613
	部位ドック(心臓・脳・大動脈血管)	〃	117
	がん検診(大腸・肺・乳・子宮・PET・メタロバ ランス検査)	〃	781
	インフルエンザ予防接種	10月～1月	13,288
	合計		27,187

② 健康増進

低廉な料金で市内外のスポーツ施設・健康施設を利用できるよう料金の一部を助成した。

自主事業では、パークゴルフスタンプラリー、ボウリング大会を開催した。

助成事業では、夏季期間はプール利用者が前年度よりも増加したが、冬季については、一部の地域で雪量不足等の天候の影響もあり、スキーリフト利用助成の利用者が前年度よりも減少した。

なお、前年度までは複数の大手スポーツクラブ施設との直接提携を行っていたが、後述する「ベネフィット・ステーション」にサービスを全面的に移行したため、全体の参加人数については、前年度より約2万人減の46,513人となった。

【参加人数】

令和5年度	令和4年度	対前年増△減
46,513人	66,499人	△19,986人(△30.1%)

※参考…令和元年度(コロナ禍前):84,061人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	《スポーツ大会》 パークゴルフスタンプラリー ボウリング大会	7月～10月	人 250
		9月	99
		小計	349
助成事業	北海道を歩こう、札幌マラソン スキーリフト、スキーランチパック スケートリンク入場 プール利用 市営体育館等利用（テニスコート利用含む） ボウリング場利用 ゴルフ場利用 ゴルフ（オープンコンペ） パークゴルフ場利用	5月・10月	361
		12月～3月	15,109
		通年	83
		〃	12,286
		〃	12,571
		〃	2,718
		4月～11月	134
		〃	5
		〃	2,897
		小計	46,164

ウ 自己啓発及び研修・表彰支援事業

自主事業では、業界や企業の発展に貢献した事業主及び会員に、社業の発展、職務精励等の功績を称え記念品を贈呈した。

助成事業では、札幌市スポーツ協会が主催する各種スポーツ教室受講料助成を新たに開始し、920人が利用した。

全体の参加人数は前年度より775人増加し、1,843人となった。

【参加人数】

令和5年度	令和4年度	対前年増△減
1,843人	1,068人	775人(72.6%)

※参考…令和元年度（コロナ禍前）：834人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	勤続(経営従事)功労記念品贈呈(30年・40年)	3月	人 456
		小計	456
助成事業	経営等セミナー 生涯学習講座 オンライン学習講座「Schoo」	通年	62
		〃	1,120
		〃	205
		小計	1,387

エ 生活安定支援事業

① 融資あっせん事業

令和2年度から新規受付を中止しており、既存融資済案件が全て完済された時点で当該事業を廃止する予定である（令和6年度を予定）。

② 割引指定店事業

(株)ベネフィット・ワン社が提供する、全国約140万件以上のメニュー（ショッピング、レジャー、スポーツクラブ、映画館利用、日帰り温泉等）で様々な割引、優待を受けられる「ベネフィット・ステーション」を新規導入し、他の既存サービス内容の補完、拡充を行った。

※年間延利用者数（参考数値）：26,856人

オ 慶弔金贈呈事業

会員と家族の慶弔に際し、次の10項目の慶弔金を贈呈した。件数は22,906件、金額は314,780千円となり、前年度より件数比で123件(0.5%)減少、金額は615千円(0.2%)減少した。また、10項目のうち永年勤続慰労金、傷病見舞金、死亡弔慰金の3項目において件数、金額共に前年度実績を上回った。

【贈呈内容】

項 目	令和5年度		令和4年度		対前年比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
	件	千円	件	千円	%	%
① 二十歳祝金	120	600	133	665	90.2	90.2
② 結婚祝金	1,145	28,690	1,166	29,370	98.2	97.7
③ 出産祝金	1,424	28,480	1,560	31,200	91.3	91.3
④ 入学祝金	4,164	41,640	4,363	43,630	95.4	95.4
⑤ 永年勤続慰労金	9,032	90,970	8,952	89,430	100.9	101.7
⑥ 還暦祝金	1,475	14,750	1,523	15,230	96.8	96.8
⑦ 銀婚・金婚祝金	747	16,090	782	16,910	95.5	95.2
⑧ 傷病見舞金	1,954	39,080	1,750	35,000	111.7	111.7
⑨ 災害見舞金	12	320	41	550	29.3	58.2
⑩ 死亡弔慰金	2,833	54,160	2,759	53,410	102.7	101.4
合 計	22,906	314,780	23,029	315,395	99.5	99.8

【贈呈額】

項 目	金 額(1件)
① 二十歳祝金	5,000円
② 結婚祝金	加入年数3年未満 加入年数3年以上 20,000円 30,000円
③ 出産祝金	20,000円
④ 入学祝金	10,000円
⑤ 永年勤続慰労金	勤続5年 勤続10年 勤続15年 勤続20年 5,000円 10,000円 15,000円 20,000円
⑥ 還暦祝金	10,000円
⑦ 銀婚・金婚祝金	銀婚 金婚 20,000円 30,000円
⑧ 傷病見舞金	20,000円
⑨ 災害見舞金	損害程度に応じ3段階 10,000円 30,000円 50,000円
⑩ 死亡弔慰金	会員 会員の配偶者・子(養子を含む) 会員の親(養親を含む) 会員の配偶者の親(養親を含む)・会員の子の死産 50,000円 30,000円 20,000円 10,000円

カ 加入促進活動及び情報提供事業

加入促進活動では、未加入企業に対してダイレクトメールの発送後に電話によるフォローを行う活動と、インターネット広告を実施した。また、会員企業に対しては未加入企業の紹介を依頼し、会員数の維持拡大を図った。

情報提供事業では、ホームページやX（旧 Twitter）、LINE を活用し、リアルタイムに事業の利便性や魅力を発信した。

【事業内訳】

項目	内容
加入促進活動	① ダイレクトメール（5,721 通）発送後、電話によるアフターフォロー並びに企業訪問 ② 既加入企業へ、未加入企業紹介の依頼 ③ 委託生命保険会社 8 社に対し加入促進の協力要請 ④ 税理士組合や金融機関とのビジネスマッチング ⑤ インターネット広告（Yahoo!、Google、Facebook、Instagram） ⑥ 地下鉄駅構内 24 駅 25 箇所に設置の「札幌市からのお知らせ」掲示板でのポスター掲示（年 2 回、各 10 日間程度） ⑦ 業界等新聞及び経済情報誌への広告掲載 ⑧ 経営者向けに無料オンライン講座視聴機会の提供
情報提供事業	① LINE、X（旧 Twitter）を活用したリアルタイムな情報配信 ② 制度概要説明の動画配信 ③ 制度パンフレットの配布 ④ マンガ版パンフレットの配布 ⑤ 会員情報誌「さぼさぼ」（年 4 回）、利用ガイドブック「さぼガイド」（年 1 回）の発行 ⑥ ホームページを中心とした情報発信（お知らせ欄による変更内容周知、イベントカレンダーと申込フォームによる事業参加者募集等）

【資料請求・企業紹介実績】

（単位：件）

区分		令和5年度	令和4年度	対前年増△減
資料請求	請求件数	554	641	△87
	加入実績	252	269	△17
企業紹介	紹介件数	75	87	△12
	加入実績	47	62	△15

※加入実績には過年度の資料請求、企業紹介を含む

(5) その他【基幹系システムの開発について】

会員情報の管理や利用券の発行等に使用している基幹系システムについて、導入から約 40 年が経過していることから、会員サービス向上及び業務効率化を図るべく、令和 7 年度の稼働を目指して刷新の検討を進めてきた。

令和 5 年度前半までに仕様や設計の大枠が確定したことから、事業者の選定を行い開発に着手したところであり、令和 6 年度は開発を本格化させていく。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・計画策定	仕様検討・策定	業者選定・システム開発		システム稼働

4 会 議

(1) 理事会

ア 第1回 定時理事会(令和5年6月1日)

開催場所 北海道経済センター

- 決議事項
- 1 令和4年度事業報告及び決算の承認
 - 2 加入等に関する規程の一部改正
 - 3 特定退職金共済制度規程の一部改正
 - 4 退職金共済審査会委員の選任
 - 5 令和5年度定時評議員会の招集

報告事項 理事長・常務理事の職務執行状況

イ 第1回 臨時理事会(令和5年6月19日)

開催方法 決議の省略

決議事項 理事長(代表理事)、副理事長及び常務理事(業務執行理事)の選定

ウ 第2回 臨時理事会(令和5年7月26日)

開催方法 決議の省略

決議事項 令和5年度第1回臨時評議員会の招集

エ 第3回 臨時理事会(令和5年11月15日)

開催方法 決議の省略

決議事項 特定退職金共済制度規程の一部改正

オ 第2回 定時理事会(令和6年3月1日)

開催場所 北海道経済センター

- 決議事項
- 1 令和6年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)
 - 2 役員等賠償責任保険の加入
 - 3 令和5年度第2回臨時評議員会の招集

報告事項 理事長・常務理事の職務執行状況

(2) 評議員会

ア 定時評議員会(令和5年6月19日)

開催場所 北海道経済センター

- 決議事項
- 1 評議員の選任
 - 2 理事の選任

報告事項 令和4年度事業報告及び決算

イ 第1回 臨時評議員会(令和5年8月8日)

開催方法 決議の省略

決議事項 評議員の選任

ウ 第2回 臨時評議員会(令和6年3月18日)

開催場所 北海道経済センター

決議事項 令和6年度事業計画書及び収支予算書の承認

- 報告事項
- 1 令和5年度の事業執行状況
 - 2 役員等賠償責任保険の加入

令和5年度事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告は事業報告書に記載のとおりであり、事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

